

□ ■ 島根県産加工食品のタイへの市場参入の可能性 ■ □

～第 1 回 輸出面からみる島根県産製品～

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスで 2022 年 11 月の 1 か月間インターンシップをしていた島根県立大学 4 年の遠藤です。私からは、全 3 回に亘って『島根県産加工食品のタイへの市場参入の可能性』についてお伝えします。第 1 回は「輸出面からみる島根県産製品」、第 2 回は「タイ・バンコクというマーケット」、第 3 回は「2 つの輸出展開」についてそれぞれお伝えします。それでは、第 1 回目にあたる今回の内容に入っていきます。



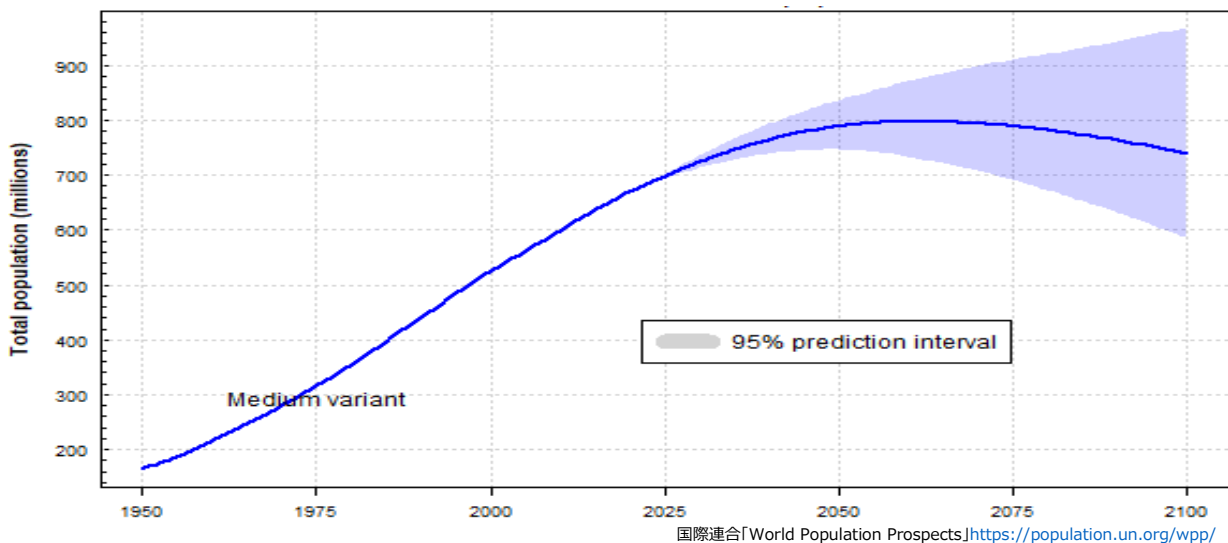
【はじめに】

○島根県と ASEAN の市場

島根県は、製造業や IT 産業をはじめとしたモノづくり産業の集積や大規模な生産拠点がある一方で、人口減少の深刻化に伴って地域市場は縮小傾向にあります。事実、県人口に関して国勢調査の結果をみると、2000 年は 76.2 万人に上るのに対して直近の 2020 年は 67.1 万人と 20 年間で 9.1 万人も減少しており、地域市場はこの間に約 12%も縮小していると言えます。

そこで島根県は、県産製品の新たなマーケットとして、地域内に限らず国外、なかでも市場成長が目覚ましい「東南アジア（ASEAN）」に注目しています。2022 年現在で ASEAN 加盟国（10 か国）の総人口は 6 億 7,333 万人に上り、国際連合の報告によれば図表 1 のとおり 2050 年あたりまで顕著な増加傾向を維持すると推測されています。そんななか、島根県は ASEAN の中核を担うタイの首都バンコクに海外ビジネス支援拠点として「島根・ビジネスサポート・オフィス」を 2014 年から設置し、県内企業による ASEAN でのビジネス展開に向けて力を入れて支援しています。

図表 1 ASEAN 加盟国の総人口の推移（1950-2100）



○ASEAN への輸出状況と可能性

そのような状況下で、県産製品の ASEAN への「輸出分野」においては成長余地が多分に残っていると考えられます。というのも、県が公表する「島根県海外展開概況調査報告書 2021」によれば、図表 2 のとおり県産製品の国別輸出額に関して、多い順にドイツ（10.7%）、中国（5.8%）、韓国

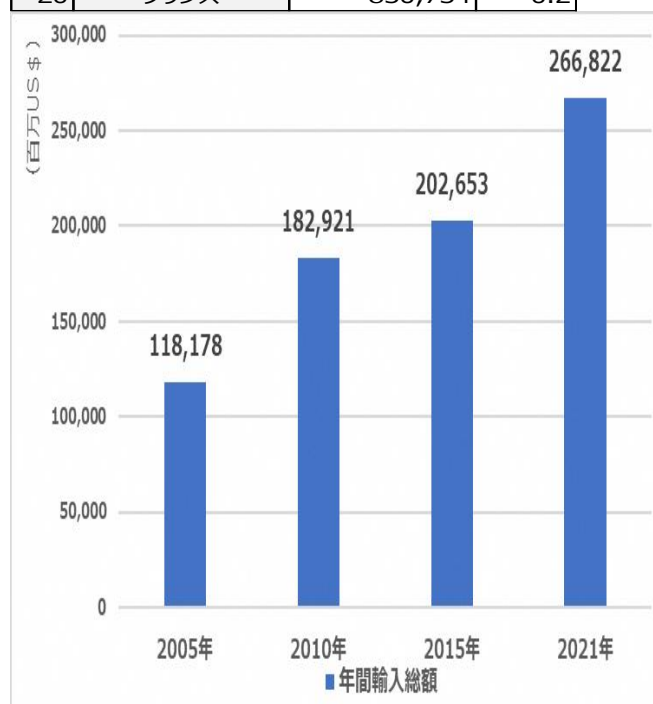
（4.4%）と続きます。しかしながら、ASEAN については最も多いタイで 1.8%に留まり、ASEAN 諸国は合計でも全体構成比のなかで 5%にも満たない現状にあります。その一方で、タイの年間輸入総額は増加傾向にあり、タイの輸入市場は拡大し続けています。事実、国連貿易開発会議の統計データに

よると、図表 3 のとおり 2005 年は輸入総額 1,181 億 7800 万 US\$ であったのに対して直近の 2021 年は 2,668 億 2200 万 US\$ に上り、約 15 年間で 2.3 倍も増加しています。

図表 2 島根県産製品の国別輸出額（2021）

順位	輸出		
	国名	金額	構成比
1	ドイツ	36,308,916	10.7
2	中国	19,602,978	5.8
3	韓国	15,015,856	4.4
4	アメリカ合衆国	14,171,508	4.2
5	タイ	6,173,938	1.8
6	香港	5,221,861	1.5
7	台湾	3,809,914	1.1
8	インドネシア	3,694,627	1.1
9	オランダ	3,611,720	1.1
10	ベトナム	2,648,280	0.8
11	インド	2,631,039	0.8
12	シンガポール	1,708,398	0.5
13	メキシコ	1,512,660	0.4
14	英国	1,465,906	0.4
15	ロシア	1,407,273	0.4
16	イタリア	1,153,586	0.3
17	スイス	1,142,210	0.3
18	ブラジル	895,765	0.3
19	オーストリア	887,485	0.3
20	フランス	830,734	0.2

図表 3 タイの年間輸入総額（2005-2021）



出典：島根県「島根県海外展開概況調査 2021」https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/syoko/sangyo/boueki_sokusin/research06/gaikyo_2021.data/houkoku2021.pdf より筆者作成 / 出典：国連貿易開発会議「UNCTADstat」<https://unctadstat.unctad.org/EN/> より筆者作成

では、どのような輸出展開によって島根県産製品の ASEAN への輸出割合を伸ばすことができるのでしょうか？そして、この問いに対する私なりの答えを、ASEAN 諸国の中でも中枢的な役割を果たすタイ・バン

コクという地域に焦点をあてて、インターンシップを通して学んだバンコクの実情を踏まえながら皆さんにお伝えします。

【輸出面からみる島根県産製品】

○島根県の輸出実績

まず始めに、島根県はどういった製品を海外へ輸出しているのか見ていきましょう。「島根県海外展開概況調査報告書 2021」によると、2021年の輸出実績において品名別輸出額については、県内にある大企業の工場からの輸出額が大きいことなどもあり、最も多い順に「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が2,692億8,000万円（構成比79.1%）、次いで「卑金属および同製品」が481億4,000万円（同14.1%）と続き、両品目で全体の93.2%を占めるとされています。

この結果から、あらゆる島根県産製品のなかでも第2次産業で生み出される加工製品が海外への市場参入において秀でた強みを持っていることが理解できます。その一方で、昔から多くの島根県民に愛される水産物や果物、そば、和菓子、日本酒などの島根県産食品については輸出割合が大きくありません。ただ、日本食はタイ（特にバンコク）を含め海外でも根強い人気を誇っており、実際に現在も多くの日本産食品が海外市場に参入しています。このことから、島根県産食品においてもタイ市場への参入を果たし得るポテンシャルは十分に秘めていると考えられます。

○代表的な島根県産食品

そんななか、島根県は県産食品に関連する海外バイヤーとの商談、海外向け販促活動のツールとして「Shimane Buyer's Catalog」をWEBサイトにて公表しています。同サイトにて紹介される商品は、「お茶・お菓子」「酒」「醤油・調味料」「その他の加工食品」「水産」「農産・畜産」の6分野に分かれます。そして、分野ごとに紹介される各商品は生鮮食品ではなく加工食品がほとんどであることから、県産食品のなかでも加工食品は、島根県ならではの特色を色濃く備える傾向が強いと考えられます。また、加工食品は長期保存が可能で海上輸送にも対応できることから、生鮮食品よりも輸送コストの削減が見込めると共に、FDA（Food and Drug Administration）の取得も生鮮食品と比べてハードルが低い傾向にあります。

そのため、食品のなかでも島根県産加工食品を対象を絞り、そのうえで更に「日本酒」と「水産加工品」の2品目に焦点を当てることにします。

○島根県産加工食品のポテンシャル

ここからは、島根県産加工食品を代表する日本酒と水産加工品の輸出面からみるポテンシャルについて整理していきます。それでは、早速、島根県産日本酒のポテンシャルからみていきましょう。

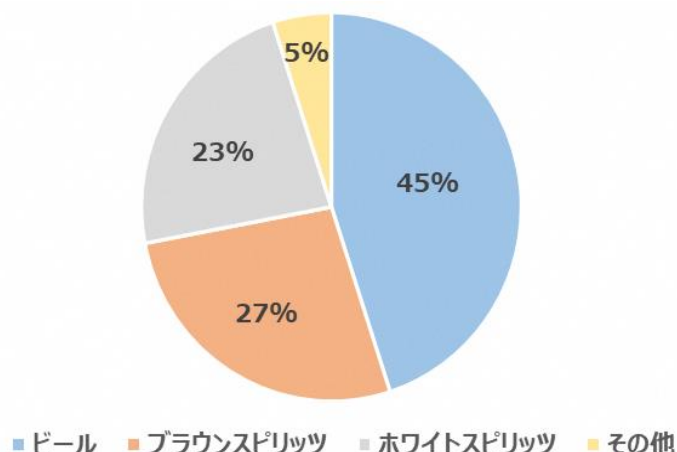
①日本酒

・日本酒発祥の地

島根県は、「日本酒発祥の地」と称されます。というのも、出雲神話や出雲国風土記の記述にみられるように、古くからしまねの地と日本酒は強い結びつきがあります。たとえば、奈良時代に編纂された出雲風土記には“佐香の河内で神々が集まって御厨を建てて、酒を造って酒宴を開いて…”と記されています。佐香の地は現在の出雲市小境町周辺にあたり、また「佐香」は酒の語源となる言葉であることから、ここが日本酒発祥の地であると考えられています。それを裏付けるように、小境町には約 1300 年の歴史を持つ佐香神社があり、酒造りの神様クスノカミを祀っています。その他にも、日本最古の歴史書である「古事記」や「日本書紀」で記される神話「八岐大蛇（ヤマタノオロチ）伝説」にて、八岐大蛇を出雲の地で退治する際に「八塩折（やしおり）の酒」というお酒が登場します。

輸出が当たり前となりつつあり、市場シェアの獲得が難しい海外の日本酒市場のなかで、島根県産日本酒が他地域の日本酒と差別化を図るためには既述したような日本酒と島根県という地域を結び付けた「固有のストーリー」を前面に押し出していくことが必要になると考えます。また、日本酒は多くのタイ人にとっ

てまだ馴染み深いものではないため、競争が激しい限られたマーケットのなかで勝ち抜くために歴史的背景をひとつの売りにはすることは有益であると思います。事実、図表 4 のとおりタイで好まれるアルコール飲料として「ビール」が約半数を占め、日本酒は「その他」の 5%のなかに含まれる状況です。以上を踏まえると、島根県産日本酒のポテンシャルとして島根が日本酒発祥の地であることはひとつ挙げられるでしょう。



図表 4 タイで好まれるアルコール飲料の割合（2017 年）

※タイの飲酒者総数（過去 12 カ月間に上記カテゴリーに該当するアルコール飲料を飲んだ 15 歳以上の人口）に対する割合

出典：山田コンサルティンググループ株式会社「経営ナレッジ」<https://www.ycg-advisory.jp/learning/>より筆者作成

②水産加工物

・バリエーションの豊かさ

島根県沖は、温暖な対馬海流と栄養塩豊富な日本海の海水が入り混じる恵まれた海洋条件にあります。そのため、県内には浜田漁港をはじめ大小 83 の漁港があり、恵まれた環境下で豊富な種類の魚介

類が育まれています。なかでも、宍道湖で獲れる粒が大きく身も肉厚な「宍道湖しじみ」や白身のトロと絶賛される「ノドグロ」、どんちっち三魚としてブランド認定される「ノドグロ・アジ・カレイ」は全国的にも有名です。そのような新鮮で豊富な魚介類が、県内企業の洗練された加工技術を通して干物や練製品、冷凍品、缶詰などの加工品となって消費者の下に提供されています。

その一方で、赤道付近に位置するタイは熱帯性モンスーン気候に属することもあり、主要な水系であるチャオプラヤ川とメコン川流域での内陸漁業が盛んです。そのため、タイ水産局のデータを参照するとシルバーバークやティラピアといった聞きなれない淡水魚が高い漁獲量を誇ります。また海水魚も多くみられますが、淡水魚と同じくアンチョビやスカッドなど日本ではあまり馴染みのない魚介類が多い傾向にあります。

以上を踏まえると、島根県内でみられる魚介類はタイでみられるものとは種類が大きく異なることが分かります。そのため、水産加工品についてもタイにて島根県内で馴染み深い魚介類を使用した製品が同程度あるとは言い難いです。この点から、島根県産加工食品のポテンシャルは島根内沖にて育まれるバリエーション豊かな魚介類を使用した加工食品が多数あることでしょう。

【まとめ】

ここまで、第1回「輸出面からみる島根県産製品」に関する内容をお伝えしてきました。いかがでしたか？

今回は、冒頭の【はじめに】にて島根県とASEANの市場、ASEANへの輸出状況と可能性についてお伝えしました。それを踏まえ、次に今回の本題である【輸出面からみる島根県産製品】では、まず島根県の輸出実績、代表的な島根県産製品をみていきました。そのなかで、代表的な島根県産製品を加工食品のひとつである「日本酒」と「水産加工物」に絞り、最後に2品目のポテンシャルについてタイへの輸出という側面からそれぞれ考察を加えました。

ただ、今回の内容だけでは島根県産日本酒と水産加工物のタイへの輸出を促進させる具体的な輸出展開まではお伝えできていません。そのため、次のステップとして上記2品目をタイのどのようなマーケットやターゲット層に訴求すべきかを示すことが求められるでしょう。なので、この辺りについて、次回皆さんにお伝えできればと思います。

【次回予告】

今回は、第2回「タイ・バンコクというマーケット」に関する内容を来月2月のオフィスだよりにて掲載予定です。そして今回は、私が実際に赴いたタイ・バンコクの主要なマーケットをいくつか紹介いたしますので、今回以上に現地のリアルな情報が盛りだくさんでお届けいたします。

□ ■ タイ政府が推進する新たな換金作物、ヘンプ（麻） ■ □



画像：経済新聞であるクルンテープ・トゥラギット、https://www.bangkokbiznews.com/social/public_health/1021218

こんにちは。島根ビジネスサポートオフィスのタイ人スタッフ、ニンです。

タイ政府は、自国の新たな換金作物として、ヘンプを推進していること及び 2027 年までに ASEAN のヘンプ産業のセンターを目指すことを発表しています。今回は、今注目を集める、タイのヘンプ産業についてお話ししたいと思います。

【ヘンプとは？】

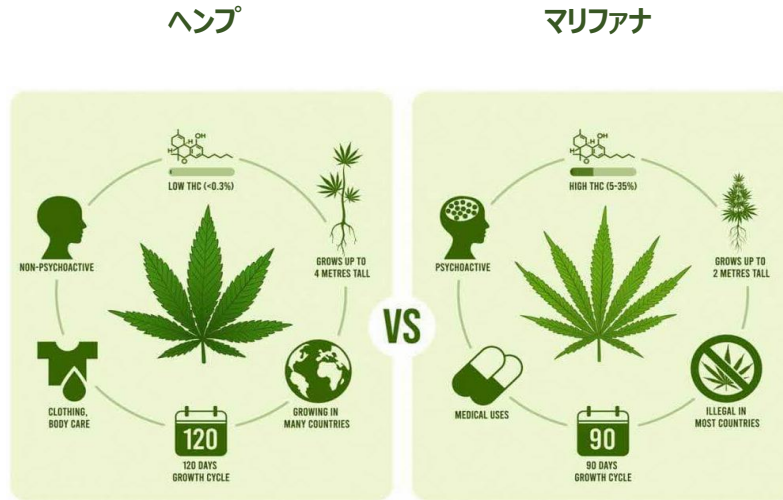
ヘンプ（Hemp）とは、アサ科の植物です、中央アジアが主な原産地として、昔から栽培されてきました。ヘンプは根、茎、葉、種、花弁といった全ての部位を産業目的で活用することができます。例えば、茎は衣料や紙などの原料となり、種子（実）の部分は食品や、食品油、化粧品などへ加工が可能です。

【ヘンプとマリファナの違いとは？】

「大麻」と聞くと、日本で違法薬物である「マリファナ」を連想される方もいらっしゃると思います。しかし、今回ご紹介する「ヘンプ」と「マリファナ」は、大きな括りでは「大麻」になりますが、全く別のものです。簡単に説明すると、大麻（英語ではカナビス）という植物は、「向精神作用があるもの」と「向精神作用がないもの」の2つの種類に大別されます。今回焦点を当てるヘンプは、向精神作用がないものに分類されます。

ヘンプとマリファナは同じアサ科の植物ですが、明確に区別できる最初の違いは高さです。ヘンプは4メートルの高さまで成長します。一方、マリファナは2メートルの高さまでしか成長しません。且つ、ヘンプは120

日程度の成長サイクルがありますが、マリファナはそれより短く、成長サイクルは 90 日程度です。また、ヘンプに含まれる THC（向精神作用を持つセウ分）は 0.3%未満ですが、マリファナは 0.3%以上の THC が含まれています。このため、ヘンプはマリファナよりもより様々な製品に柔軟に用いることができます。



画像：

<https://www.tnkbeauty.com/%e0%b8%87%e0%b8%b2%e0%b8%99%e0%b8%a7%e0%b8%b4%e0%b8%88%e0%b8%b1%e0%b8%a2%e0%b8%81%e0%b8%b1%e0%b8%8d%e0%b8%8a%e0%b8%87-%e0%b8%99%e0%b8%b5%e0%b9%89-%e0%b9%84%e0%b8%94%e0%b9%89%e0%b9%80%e0%b8%a3%e0%b8%b4/>

【タイのヘンプ市場】

2021 年 1 月よりタイ政府は、①政府機関の命令に応じた使用 ②伝統文化・生活文化において繊維としての使用及び家庭のみでの使用（栽培の場合、1 家庭につき 1 ライ（1,600 m²）以下であれば栽培が可能） ③商業目的または工業目的での使用 ④医療目的での使用 ⑤学び・分析・研究・品種改良を目的とした使用 ⑥認証種子として生産における使用、という 6 つの目的であれば、ヘンプの生産、輸入、輸出、販売、所持を許可しています。



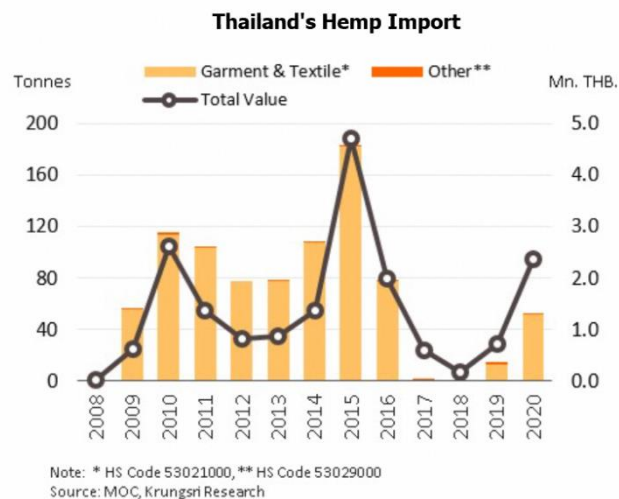
Source: Royal Thai Government Gazette, Krungsri Research

画像：クルンシー・リサーチ、<https://www.krungsri.com/th/research/research-intelligence/hemp-2021>

上記の目的（特に商業目的または工業目的での使用）のための使用許可により、タイ政府は新たな換金作物としてヘンプを推進しています。また、2027年までにASEANにおいてヘンプ産業の中心地となることを目指しています。

これまでのタイでのヘンプの扱いは、タイ民芸文化支援施設の編織の作業のための使用以外に、商業、工業目的での使用は許可をされていなかったため、国内のヘンプの市場はまだ小さいです。

例をあげると、タイ北部の民族であるモン族は古くから麻を民族衣装の布地に使用しており、このモン族の支援のために、ロイヤルプロジェクト財団及び高地研究開発機関（HRDI）では、2005年からヘンプの栽培、加工に関する研究、開発を行っていました。また、2014年、上記の同財団・機関がタイの北部のターク県に「面積：150 ライ（240,000 m²）」ヘンプの栽培も推進していたことで、2015年には、タイは約471万バツ程、ヘンプから作られた衣類や布地などの半製品を輸入していました。



【ヘンプ産業における

画像：クルンシー・リサーチ、<https://www.krungsri.com/th/research/research-intelligence/hemp-2021>

タイの利点】

他の国と比較すると、ヘンプ産業におけるタイの利点は、ヘンプ栽培に適した地形及び気候です。ヘンプ栽培に適した地形及び気候であるタイでは、屋外栽培や半屋外栽培、屋内栽培など様々な方法でヘンプを栽培することができます。ヨーロッパ諸国の場合、温度を管理するために屋内で栽培しなければならないので、栽培方法の選択肢が多いのはタイで栽培をする利点であると言えます。

特にタイの北部及び東北部では平均気温が18～33度で推移するため、ヘンプの栽培に最も適した地域です。ヘンプの収穫期間は平均3～4ヶ月と短いため、年に2～3回の収穫が可能です。

【今後5年のタイのヘンプ市場の価値】

タイの大手調査機関クルンシー・リサーチは、ヘンプを応用できる産業である「1.飲料産業 2.食品産業 3.医薬品・サプリメント産業 4.服飾産業 5.シャンプーやスキンケアなどパーソナルケア製品・化粧品産業」の5つの産業からヘンプ市場の今後の規模を予測しました。

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.99

クルンシー・リサーチの予測によると、2021年は、ヘンプを原料とした飲料産業の市場規模は2億8千万バーツであったと予測されていました。次いで、食品産業の市場規模が2億4千万バーツ、医薬品・サプリメント産業が5千万バーツ、服飾産業が3千万バーツと続きます。パーソナルケア製品・化粧品産業については、まだ製品開発段階にあり、今後の展開が注目されます。

上記の5つの産業全体では、約6億バーツであったと予想されています。且つ、2025年のタイのヘンプ市場規模は、157億7千万バーツで、その年間平均成長率(CAGR)126%と見込まれています。

Projection of Economic Gains from Hemp's Ingredient

	Value (THB, m)		CAGR Growth
	Estimate 2021	Forecast 2025	
Beverage	280	7,600	128%
Food	240	5,600	120%
Pharmaceuticals and Supplementary	50	1,240	123%
Apparel and Footwear	30	820	129%
Personal Care Products**	0.0	510	184%
Total	600	15,770	126%

画像：クルンシー・リサーチ、<https://www.krungsri.com/th/research/research-intelligence/hemp-2021>

【最後に】

タイ政府が新たな換金作物としてヘンプを推進しているものの、市場の需要に応じた収量や品質の安定が、タイにおけるヘンプ栽培における課題となっています。

タイ政府が掲げる、2027年までにASEANのヘンプ産業中心地としての地位の確立には、上記以外にも様々な問題がまだまだ多く存在しています。

出典：クルンシー・リサーチ <https://www.krungsri.com/th/research/research-intelligence/hemp-2021>

クルンテープ・トゥラギット https://www.bangkokbiznews.com/social/public_health/1021218

□ ■ ナコンサワン県のライトアップ人形祭り ■ □



こんにちは。島根ビジネスサポートオフィスのタイ人スタッフ、アイです。

年末年始休暇の間、チェンマイやプーケット、サムイ島など、有名な観光地を訪れ、都会の忙しい日々から逃れ、友だちや会社の同僚と連休を満喫することタイ人はとても多いです。ですが、私の場合は、バンコクを離れ、タイの地方にある実家のナコンサワン県に里帰りをし、家族と一緒に過ごすことにしました。

今回は、私の故郷であるナコンサワン県で帰郷中に行われていた、ライトアップ人形祭りについてご紹介いたします。

【ナコンサワン県とは】

ナコンサワン県は「タイ中部と北部の玄関口」と呼ばれ、タイの北部と中部の境にある県です。この都市はスコータイ王朝時代の有名な石碑に戦における重要都市としてその名前が刻まれているほど、古くからの歴史のある町です。このナコンサワン県は、スコータイ王朝時代にはパークナムポーと呼ばれ、その後、時代を経てナコンサワンという現在の名前に変更されました。この「ナコンサワン」という名前は、「天国の都市」という意味です。

【ナコンサワン県にあるおすすめの観光地】

タイ国北部の入り口として広く知られていますが、ナコンサワン県にはたくさんのユニークな観光地があります。

①パサーン

ナコンサワン県の有名なランドマークのひとつで、ナコンサワン県を訪れたら絶対行くべきところ。そこには写真映えスポットが多くあり、きれいな写真が撮影できます。このパサーンという言葉には、混ぜる、結びつけるという意味があります。チャオプラヤ川は、ピン川、ワン川、ヨム川、ナン川という4つ支流で構成されており、この4つの川の合流場所にあるヨム島にこのパサーンがあるため、チャオプラヤ川や人々の結びつきを表すこの名が付けられました。パサーンは、チャオプラヤ川を眺める観光スポットとして、また、建物の周りには広い公園があり、地元の人たちが日々の疲れを癒やす憩いの場として親しまれています。



②ブン・ボーラペット

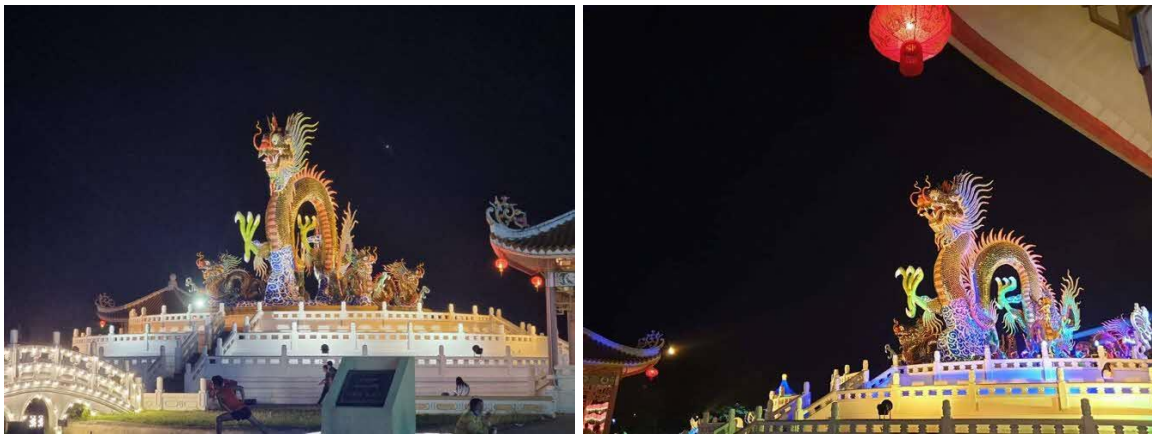
もう一つ、ナコンサワン県の有名な観光地は、ブン・ボーラペットです。面積約 212 平方キロメートル、ナコンサワン県内の 3 郡を跨ぐ、タイ最大の湖です。ブン・ボーラペットには、148 種の淡水魚と 156 種の野鳥が生息しており、その他、ワニなどその他の動物も生息をしています。小舟に乗って湖を回り、周囲の自然を満喫したり、近くにある水族館で飼育されている淡水魚や開催されているワニのショーなども見学することができます。



③サワン・パーク（天国公園）

ナコンサワン県の中心地にある、都会のオアシスともいべきこの公園は、パークナムポーという地区にある約 502 平方キロメートルの広大な緑地内にあります。この美しい公園は大きな沼地に囲まれており、エリアの中央には「パヤ・マンコン・サワン(Phaya Mangkon Sawan)」と呼ばれる中国の龍の像があり、その中央の大きな像が、雲の形をした台座の上に乗った小さな龍に囲まれています。また、中国の東屋や睡蓮の池にかかる橋が龍へと通じています。

その上、サワン・パークには、地域の重要なお祭りの開催場所としても使用され、今回の私も訪れたライトアップ人形祭も当公園で開催されます。



【ナコンサワン県のライトアップ人形祭りの紹介】

ナコンサワン県主催のライトアップ人形祭りは 2017 年から開始されており、県内の経済や観光産業を促進を開催目的としています。このお祭りは、伝統的な文化の要素と、パークナムポーの中華新年の文化を融合させて、2017 年の 1 回目の開催は地元の人のみならず観光客からも高評価を受けました。これを機に、毎年の年末年始を祝うために、継続的に開催されるようになりました。

第 5 回目開催を迎えた今回は、2022 年 12 月 24 日から 2023 年 1 月 2 日までの期間で開催されました。そこには、イルカ、ドラゴン、鳥、そして干支のシンボルなどをモチーフにした人形が、煌びやかにライトアップされ展示されており、写真を撮影する人も多く見られました。その他、食べ物やゲームの出店も立ち並び、にぎやかな雰囲気の中で模様された同イベントは、年末年始のカウントダウンをお祝いするのにも最適でした。



【最後に】

今回ご紹介したライトアップイベントを除いても、バンコクやチェンマイなどタイの主要都市とは違った楽しみ方ができるナコンサワン県。ぜひ皆様も、足を伸ばしてみてくださいはいかがでしょうか。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください

担当：神谷 靖子 Yasuko Kamiya

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Tel : +66-(0)-2-261-1058

▶ タイ経済指標

項目	単位	2019	2020	2021	2022
GDP 成長率	前年比 (%)	2.4	-6.2	1.8	3.1 (1~9月)
人口*	千人	68,021	68,152	68,161 (1月)	69,891 (22年10月)
労働者の数*	千人	38,207	39,451	38,631	40,089 (9月)
失業率**	%	0.99	1.62	1.94	1.38 (1~9月)
最低賃金*	バンコク	325	331	331	353
	チョンブリー	330	336	336	354
	アユタヤー	320d	325	325	343
	ラヨン	330	335	335	354
賃金：全国製造業の平均	パーツ	13,131	13,562	13,506	14,257 (1~9月)
インフレ率**	前年比 (%)	0.71	-0.84	1.24	6.10 (11月)
中央銀行政策金利*	%	1.25	0.50	0.50	1.25 (11月)
普通貯金率**	%	0.47	0.31	0.25	0.28 (12月)
ローン金利(MLR) **	%	6.29	5.60	5.42	5.50 (12月)
SET 指数*	1975年：100	1,579.84	1,449.35	1,657.62	1,668.66 (12月)
パーツ/100円**	パーツ	28.48	29.33	29.15	26.78 (12月)
パーツ/米ドル**	パーツ	31.05	31.29	31.98	35.06 (12月)
円/米ドル**	円	109	106.8	109.8	131.38 (12月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	1,019,602	779,857	736,716	764,422 (11月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,500	1,501	1,572	1,197 (22年9月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億パーツ	447.36	361.41	511.9	502.70 (22年9月)

*期末、**平均